

【発表者】

兵庫県 淡路島民局 洲本土木事務所
企画調整・大鳴門橋自転車道担当
立花 篤
松田 明香
木村 慎

アワイチ (淡路島一周サイクリングルート) の取り組み

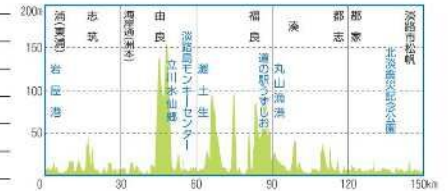
① サイクルツーリズムの推進

淡路島一周の「アワイチ」が人気を集める中、地域活性化を目的に関係機関が連携し、走行環境や受入体制の整備を進めています。「アワイチ推進プログラム50」に基づき、ナショナルサイクリングルートの指定も視野に入れ、淡路島の魅力発信と交流人口の拡大を図っています。



② アワイチ (淡路島一周サイクリングルート) の概要

延長	150km
最大標高差	156m
獲得標高	約1200m
最急勾配	約10%
進行方向	右回り(海側車線を走行)
所用時間	約10時間



③ より快適にアワイチを楽しんでいただくために

走行環境整備



【側溝ふた掛け】
側溝のふた掛けにより、路肩幅を確保



【ゆっくりのんびりサイクリング】
後続車を一時的にさけるための待避所を整備



【矢羽根型路面標示設置】
車道に自転車の通行位置を示して、自動車に対して注意喚起



【路肩拡幅】
福良江井岩屋線の路肩拡幅(法起こし)



【コース情報看板】



【マナー啓発看板】



【注意喚起看板】

サイクリスト向け情報提供



【距離標】
おおむね5kmごとに設置



【ルート案内】
令和7年度に案内標識・路面表示等を増設



【コース案内看板】

サイクリスト受入環境の整備



【サイクルステーション】
飲食や充電ができ、修理器具の貸し出し等も行う休憩施設を整備



【ゲートウェイ】
ナショナルサイクリングルートの必須機能を備えたゲートウェイを整備

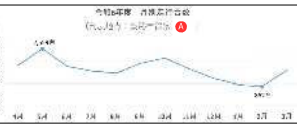
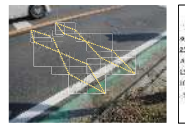


【サイクルラック】
交通拠点、休憩箇所に整備



【フォトスポットの整備】
各市に1か所ずつ整備
現在、3箇所目の工事中

利用実態の把握



【自転車通行台数の観測】
島内3箇所(淡路市A・洲本市B・南あわじ市C)で自転車通行台数の常時観測を実施
常時観測により、3箇所の通行台数や月ごとの推移等を把握することが可能

島外との自転車交通手段の確保



【明石市⇄淡路島】
"シェノバライン"
明石港から岩屋港をつなぐ航路に、年間2万台以上の自転車が乗船



【大阪府⇄淡路島】
"深日洲本ライナー"
大阪府の深日港と洲本港を40分で行き来する航路に、自転車で乗船可能



【徳島県⇄淡路島】
徳島市と南あわじ市をつなぐ路線バスに自転車の積載が可能
(自転車積み込みに係る費用は無料)

イベントの開催



【淡路島ロングライド150】
令和7年度は今年と来春の2回開催
今年度は9月15日(月・祝)に開催、来春は3月下旬開催予定

【アワイチ反射ステッカー】
その年限定のデザインを配布



【他県との連携】
"サイクルボール"にて、「アワイチ・アワイチ連携キャンペーン」を開催



大鳴門橋自転車道の取組み



【全景】
【大鳴門橋に渡るアワイチ橋】
【自転車道空間】
兵庫県と徳島県の共同事業として、大鳴門橋の桁下空間を活用し、総延長1,799mの新たな自転車道を整備中